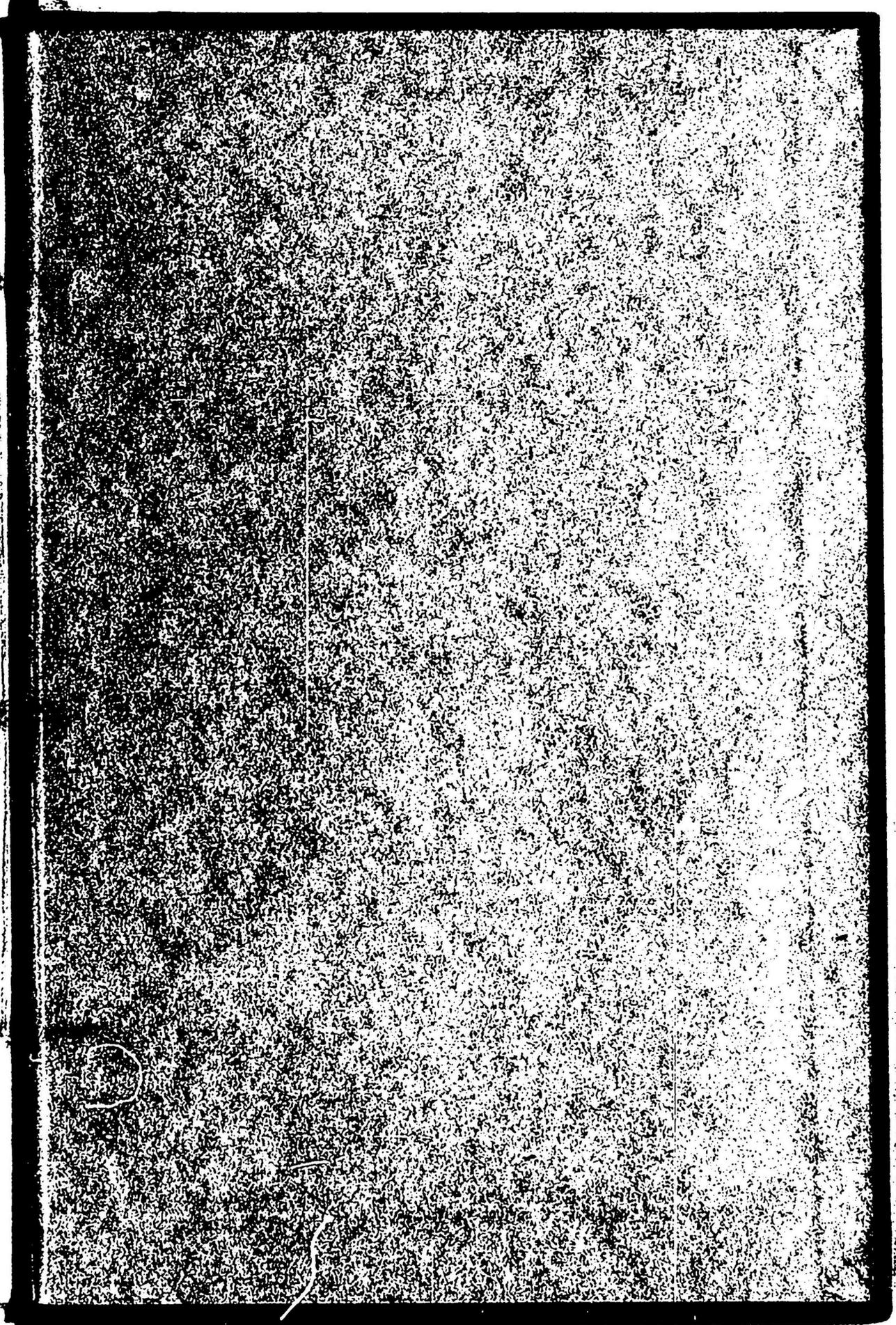
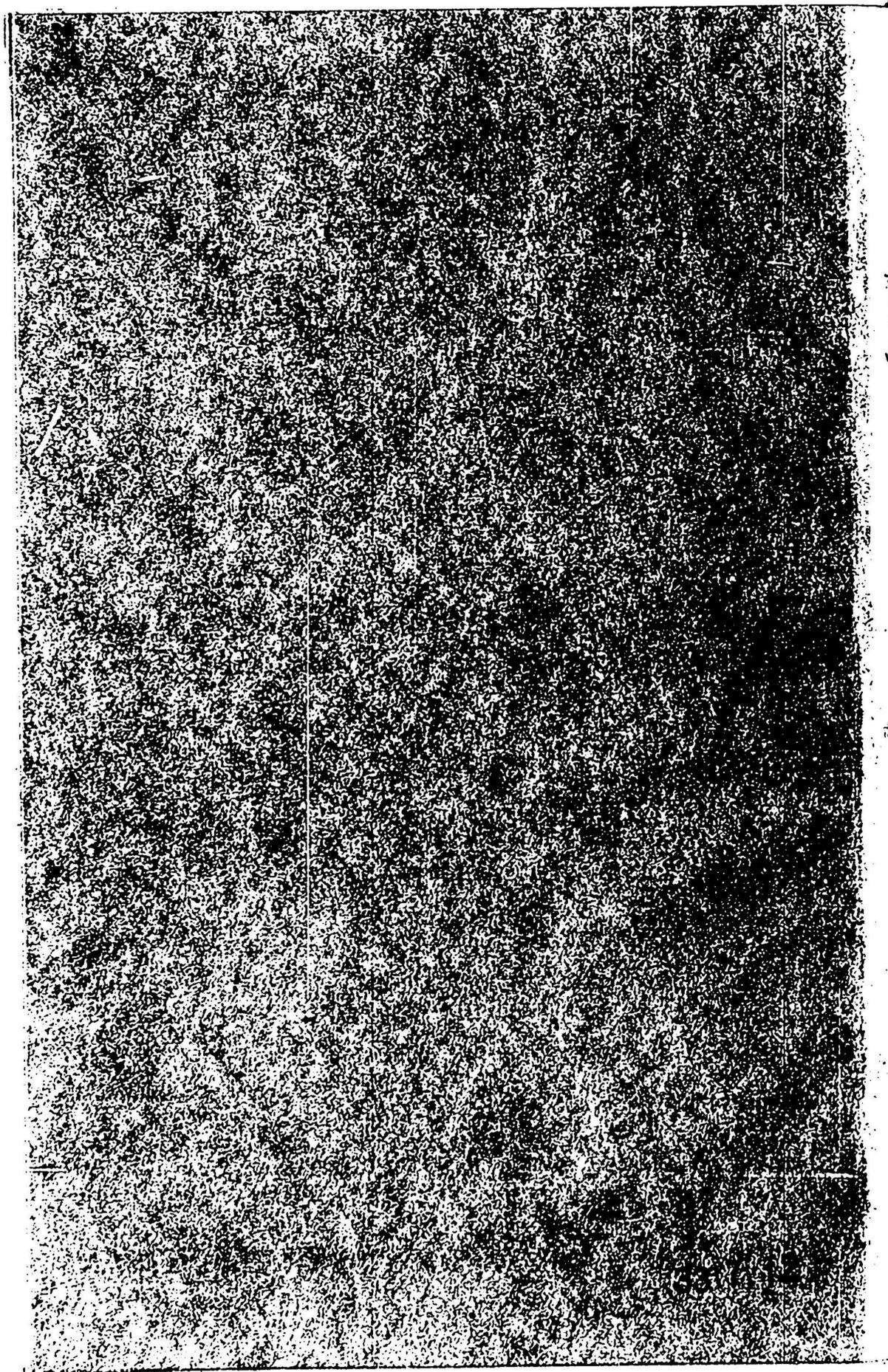
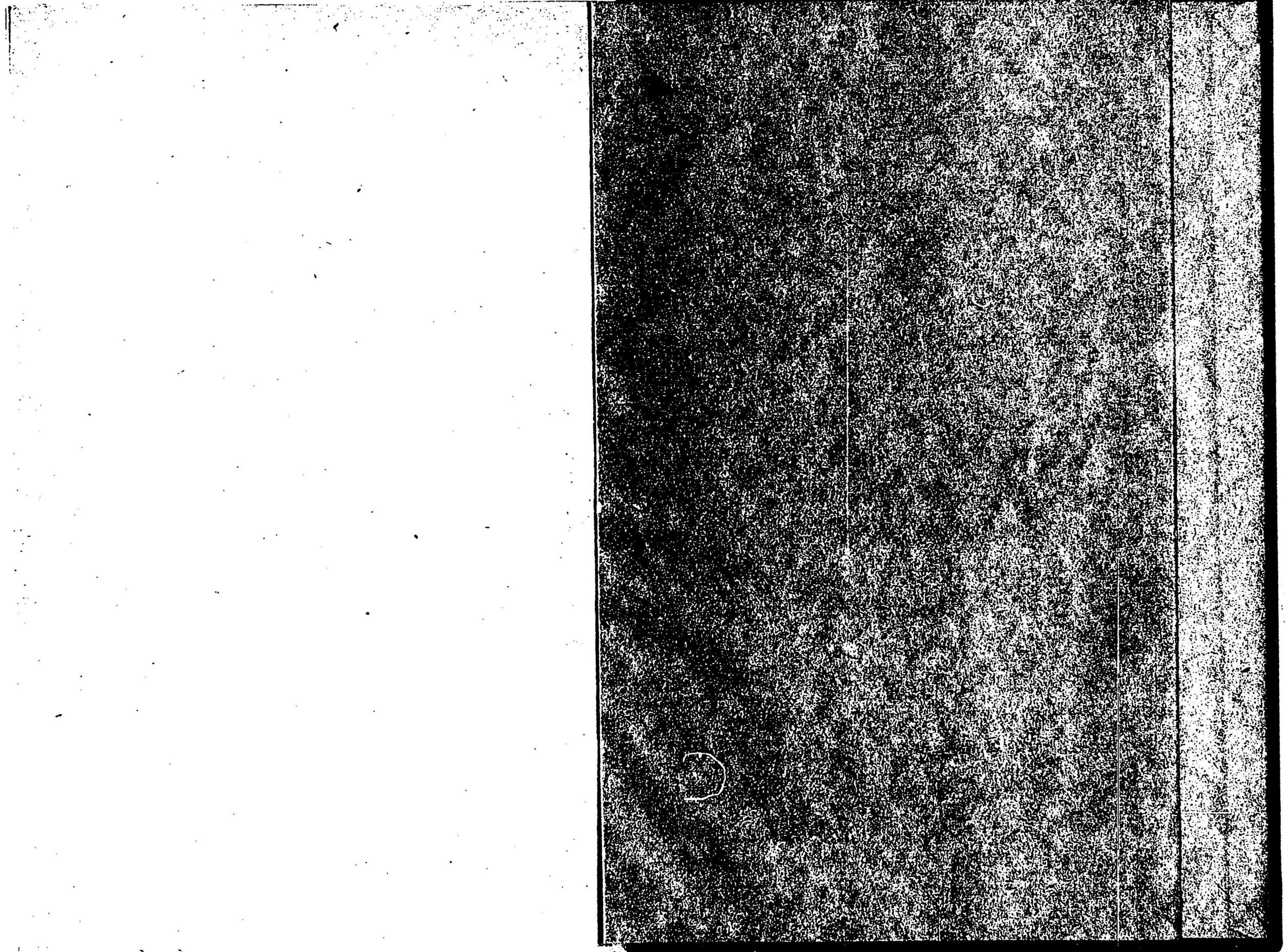


34
241

輸出税金席ヲ冀望スルノ主意書

翌月二部

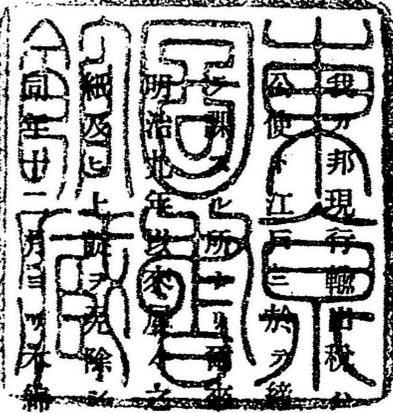




64-241

N^o 2450/24

輸出税全廢ヲ冀望スルノ主意書



慶應二年中、舊政府ノ全權委員水野和泉守カ、英佛米蘭ノ全權
 結シタル故稅約書ニ基キ、同約書ニ添付セル運上目録ニ據リ
 外國ニ輸出スル物品ニハ總テ之ヲ課シ來リシカ、政府ハ去ル
 カ免除ヲ行ヘリ、即チ明治九年八月ヨリ内國人民製造ノ西洋
 同年十一月ヨリ水鏡ヲ免除シ、十年三月ヨリ摺付木ヲ免除シ、
 同年九月ヨリ、フランチル
 羽、縷木綿ヲ免除シ、十二年七月ヨリ木綿織物、絹織物、絹綿交織物、衣服、陶器、磁器、七寶
 器、漆器、竹器、銅器、鍍器、紙、扇子、團扇傘ヲ免除シ、十三年七月ヨリ書、畫、革、寶石、石、木、籐、棕
 櫚、骨、角、甲、貝、牙、蹄、羽、毛、紙、糸、織物、鯨鬚、琥珀、珊瑚、眞珠、玻璃、金屬ヲ以テ單ニ製作シ、或ハ
 相交ヘテ製作シタル諸品並ニ右各種ト他ノ物質トヨリ成立シタル諸製作品ヲ免

除シ、十三年八月ヨリ硫酸ヲ免除シ、十四年五月ヨリ硫黄ヲ免除シ、二十年七月ヨリ食鹽ヲ免除シ、二十一年九月ヨリ石炭ヲ免除シ、二十二年一月ヨリ藥材、樟腦ヲ除ク、製藥、染料、彩料、阿膠、蠟、蠟、墨類、印、肉、洗粉、石礮、磨齒粉、靴墨、醫術用諸品、學術諸用品、香類、化粧用品、織物、編物、組物、縫絲、組絲、綢絲、釣絲、絃線、綢、繩類、反古類、工作ヲ加ヘタル木材、木片及ヒ板、金屬製ノ綿釘箔及ヒ薄延板、寶石、印材、玻璃、琥珀、雲母、石綿、石、土、砂、湯ノ花、灰類、セメント、コーク、團炭、油煙、木炭、薪、山藪、山藪絲、綿、真綿ヲ除ク、麻、苧、草木ノ皮、根、穗、莖、花及ヒ脂、絲、瓜、竹材、竹皮、棕櫚皮、蘇鐵葉、柿澁、鵝、糠、熟艾、楨肌、漿粉、穀、蔬、菜、菓實、幹、根等ヲ以テ製シタル食物、罐詰及ヒ瓶詰食物、菌類、椎茸ヲ除ク、菓子、酒類、酢、醬油、油類、製造煙草、榨粕類、禽獸、蟲類、卵類、獸肉、獸脂、乾酪、乳油、蜂蜜、骨、角、羽、毛、甲、介殼、筋、牙、蹄、魚、肝、鯨、珊瑚、真珠、生魚、鱈、節、海藻、昆布、刻昆布、石花菜ヲ除クヲ免除セリ、

政府ハ斯ノ如ク許多ノ物品ニ對シ輸出税ヲ免除セリト雖モ、現今尙ホ輸出税ヲ課セラル、モノ五十餘種ノ多キニ居レリ、今マ昨明治二十三年ニ於テ輸出税ヲ課セラルタル物品ノ稅率元價及ヒ收稅額ヲ示セバ左ノ如シ、

品名	稅率(一分銀ニ)	元價	收稅額
錫	同	一、九三二、九九二、五〇〇	二、五八三、三九七、二
田	同	一、八〇〇	一、八〇〇

品名	稅率(一分銀ニ)	元價	收稅額
錫	同	一、九三二、九九二、五〇〇	二、五八三、三九七、二
田	同	一、八〇〇	一、八〇〇
乾魚	百分五	一、二八七、七一、九五〇	六、四三六、三〇〇
及	同	七、四九六、六、三〇〇	三、七四七、七、七五〇
魚	百分五	二〇、五五五、五八〇	一、〇二七、二七、九
魚	同	二〇、六二二、一八〇	一、〇三一、一、五九
魚	同	二八、八〇二、一五〇	一、四四九、九、九八
魚	同	三三、三四四、二七〇	一、六六三、七、五三
魚	同	五七、九七五、九〇〇	二、八七九、一〇、一四四
魚	同	五、六三、五〇、四五〇	二、八七九、一〇、一四四
魚	同	一、六、一〇六、一三〇	八、七七一、一、七一
魚	同	九三、六五、六八〇	一、六八四、四、七七
魚	同	四七、七八九、三九〇	一、四七五、八、七五九
魚	同	九、七四八、四六〇	四、八七、四、三三
魚	同	三、四、四、五、二八〇	一、七二二、二、六四
魚	同	八、四、二、九〇、四八〇	四、二、四、五、三、四
魚	同	七、三、五、五、二〇、四〇	三、六、七、七、六〇、二
魚	同	一、九、八、四、〇、五、三、八〇	八、七〇、五、六、〇、二
魚	同	三、四、九、九、六、一、五、八〇	一、七、四、九、八、〇、七、九
魚	同	一、三、一、七、二、〇〇	六、五、八、六、〇
魚	同	一、三〇、一、〇〇、二、八〇	六、五、〇、五、五、一、四
魚	同	五、八、三、〇〇、〇〇	二、九、一、五、〇
魚	同	三、〇、四、九、七、六、一、四、六〇	一、五、二、四、八、四、九、七、七
魚	同	二、三、五、〇〇、〇〇	一、一、七、五、〇
魚	同	二、三〇、二、三、一、六、七、四〇	一、一、七、五、〇
魚	同	四、二、三、七、四〇	一、一、七、五、〇
魚	同	四、三、一、四、四〇	一、一、七、五、〇
魚	同	一、七、五、七、九〇	九、〇〇〇
魚	同	四、八、九、九、四、三、八〇	二、四、四、九、七、一、九
魚	同	四、二〇〇、〇〇	二、一〇〇〇
魚	同	一、三、三、四〇	六、六、七

外國へ輸出高 比較割合

日本 三、八七五、〇二九_円 一〇〇

北米合衆國 一、二七三、八八六 三二九

以テ我カ輸出物品カ支那、印度、伊太利、露西亞及ヒ北米合衆國等ノ激烈ナル競争ヲ受ケ居ルヲ知ルベシ、然リ而シテ斯ク諸外國ノ競争アル時ハ、外國ノ同一ナル市場ニ於テハ、輸出税ヲ課スル國ヨリ來レル物品ノ直段モ、輸出税ヲ課セサル國ヨリ來レル物品ノ直段モ、苟モ其品質ニシテ同等ナル以上ハ同一ナラサルヘカラス、例セハ我邦ノ昆布ニハ輸出税アリ、露西亞ノ昆布ニハ輸出税ナシト雖モ、芝罘ノ市場ニ於テハ日露兩國ヨリ來レル昆布ノ直段ハ、苟モ其ノ品質ニシテ同等ナル以上ハ同一ナラサルヘカラス、又々我カ邦ノ生糸ニハ百斤ニ付二十五圓ノ輸出税アリ、伊太利ノ生糸ニハ百斤ニ付四圓三十七錢五厘ノ輸出税アルニ過ヤズ、其ノ輕重ノ差甚シト雖モ、里昂若クハ紐育ノ市場ニ於テハ、日伊兩國ヨリ來レル生糸ノ直段ハ、苟モ其ノ品質ニシテ同等ナル以上ハ同一ナラサルヘカラス、左レバ此租税ハ芝罘里昂及ヒ紐育ノ消費者等ニ歸セサルコト多辨ヲ要セサルナリ、然ラバ則チ此等ノ物品ヲ輸出スル所ノ輸出商人等ニ歸スベキ乎、彼等ト雖モ之ヲ負擔セバ、露西亞若クハ伊太利ニ於ケル輸出商人等ト競争スルコト能ハサルヘキヲ以テ、彼等ハ輸

出税丈ク低價ニ物品ヲ買入レ、以テ其利ヲ計ラザルベカラス、故ニ輸出税ノ負擔ハ到底我カ内地ノ生産者ニ歸セザルベカラザルコトナリ、今マ左ニ無税ナル東印度及ヒ有税ナル支那及ヒ日本ノ茶況ヲ證セン、

年	號	日	本	支	那	東	印	度
明治十八年	十		六、八五四、二〇	
明治十九年	十		七、七三三、三三〇	
明治二十年	十		七、六〇三、三三〇	
二十一年	十		六、二四八、八一六	
二十二年	十		六、一五六、七二八	

支那及ヒ東印度ハ英國政事家年鑑ニ據ル

又々我北海道有税ノ昆布ト露領シベリヤ無税ノ昆布トノ競争左ノ如シ、

芝罘港日露昆布輸入比較表

年	管		日		比
	數	産	數	産	
慶應二年	一、七七七、三二二	斤	二、三六九、一八	斤	五九一、八〇六
全應三年	七、五五四、六二八	斤	一、八五三、五八五	斤	五七〇、一〇四三
全治二年	五、六一六、八八二	斤	二、二二二、三七四	斤	三、三九四、五〇八
全明二年	五、六二四、三三五	斤	二、四一〇、〇九五	斤	三、二一四、三三〇
全應二年	八、二三七、〇三一	斤	八、八七九、八八六	斤	七、三九九、〇四五

之ヲ要スルニ輸出税ハ内地ニ於ケル物産ノ發達ヲ抑壓シ、外國貿易ノ進歩ヲ妨碍スルノ結果アルモノトス、更ニ一步ヲ進メテ論スレバ、輸出税ハ諸外國ニ於ケル同一ナル物産貿易ヲ保護スルノ結果アルモノトス、何トナレバ同一ノ物産貿易ニシテ一ハ租税アリ、一ハ租税ナキトキハ、租税ナキモノハ發達シ、租税アルモノハ衰頽スルハ論ヲ俟タザンバナリ、輸出税カ物産ノ發達ヲ抑壓シ、外國貿易ノ進歩ヲ妨碍スルノ結果アルコトハ輸出税ヲ免除シタル後チ、其ノ輸出高ノ頓ニ増加セシニ據リテ明カナリ、請フ左ノ一表ヲ見ヨ、(表ハ挿入セリ)

抑モ從來ノ免除ハ單ニ輸出税ヲ免除スルノミニシテ、荷造ヲ開封シ検査ヲ爲スノ手數ハ依然舊ニ異ナラス、蓋シ輸出税ノ免除セラレザルモノ尙ホ多キカ爲メ、總テノ輸出物品ヲ検査セザルベカラザルヲ以テナリ、然レトモ其ノ輸出高ノ増加セルコト斯ノ如シ、若シ夫レ總テノ輸出物品ニ對シテ輸出税ヲ免除シ、検査ヲ全廢スルニ至ラハ、其ノ輸出高ノ増加果シテ如何蓋シ意想ノ外ニ出ヅルモノアラフ、今ヤ我カ邦制度文物大ニ改良進歩シタリト雖モ、獨リ國家ノ富力ニ至リテハ世界ノ後進國タルヲ免カレズ、是レ遠ク東海ニ僻在シテ久シク其ノ港ヲ鎖シ、外國貿易ヲ營マザリシカ爲メナリト雖モ、是レ決シテ放棄スベキニアラザルナリ、請フ左ノ一表ヲ見

ヨ、

明治二十一年各國輸出入高比較表

國名	輸出高	輸入高	輸出入合計
英國	二、〇四三、七八三、七九九	二、七八九、二五九、五〇九	四、八三三、〇四三、三〇八
獨逸	一、一三三、八二〇、〇〇〇	一、三三三、四四三、〇〇〇	二、四六六、二六三、〇〇〇
佛蘭西	一、五五六、一六九、九二〇	一、六三〇、一四九、一〇〇	三、一八六、三一〇、〇〇〇
伊太利	二、三二〇、一〇〇、四四五	三、〇四三、二二二、八〇九	五、三五三、三二三、二五四
瑞典	一、七四三、三二七、〇〇八	二、一四二、二二二、三五六	三、七八五、五四九、〇六四
丁蘭	七二五、二〇六、四七五	七九九、五九六、八四三	一、五二四、八〇三、三二八
和蘭	六九三、七、六四〇	九八、七八四、三六〇	一、六八二、五六一、〇〇〇
西班牙	八八、八〇四、〇八〇	一〇七、〇六七、六〇〇	一九五、八七一、六八〇
葡萄牙	六〇、一九五、二四〇	七三六、九三〇、二〇〇	一、三三八、一二五、四六〇
土其	二〇、四五二、九七六	一九、九一〇、九〇八	三九、六六三、八八四
合衆國	四七、七五二、九一九	六九、五二五、一〇三	一一七、二七八、〇二二
支那	七九、九二四、五八五	六四、七九四、二五六	一四四、七一九、八四一
印度	九一、六三七、五二九	九七〇、一〇二、五三三	一、八八六、四七七、七五二
日本	一四一、九四七、〇〇一	一七八、四九五、八七九	三二〇、四〇二、八八〇
本國	六四五、三五六、五二七	五四三、七五二、五九一	一、一八九、〇九一、〇一八
合計	六五、七〇五、五一〇	六五、四五五、二三四	一、三一、一六〇、七四四

我カ邦ノ輸出入高ハ英、佛、獨、白、蘭、米、印ノ諸國ニ比スレバ、其ノ及ハサルコト幾何ナルヲ知ラズ、僅カニ丁、土、葡ノ如キ小國ト伍スルヲ得ルノミ、嗚呼歐米富強ノ國ニシテ尙ホ且ツ吸々トシテ其物産ノ發達ヲ是レ計ルニ當リ、後進ノ我カ邦ニシテ、却テ輸

出税ノ制ヲ行ヒ物産ノ發達ヲ抑壓シ、外國貿易ノ進歩ヲ妨碍セハ、國力何ヲ以テ伸フルヲ得ン、殷富何ヲ以テ加フルヲ得ン、是レ本會ガ各位ノ御賛成ヲ得テ輸出税ノ制ヲ除去セシテ望ム所以ナリ、

輸出税ノ免除セザルベカラザルコトハ理ノ最モ親易キモノニシテ、一點ノ疑モ容ルヘキ所ナシト雖モ、我カ邦經濟思想ノ幼稚ナル尙ホ往々ニシテ疑ヲ其ノ間ニ存シ異論ヲ唱フルモノアリ、曰ク輸出税免除ノ利益ハ我カ邦ニ在留セル外國商人等ニ歸セン、故ニ之ヲ免除スルモ内地ノ人民ニハ利益ナカラント、是レ未タ輸出税負擔ノ歸スル所ヲ審ニセザルカ爲メナリ、今、マ簡單ナル一例ヲ設ケテ之ヲ解説セン、夫レ東京ハ四方ノ米穀輸入スル所ナリ、試ミニ肥後ニ於テ輸出米ニ對シ關稅ヲ課セリトセヨ、東京ノ肥後米決シテ騰貴セズ、故ニ肥後ノ米價其稅額丈、少下落セザレハ東京ニ輸出スルヲ得ザルハ理ノ親易キモノナリ、故ニ若シ其輸出税ヲ撤去セバ、肥後ノ米價忽チ騰貴シ、其利全肥後ノ米商農夫ニ及ハン、豈ニ獨リ其輸出者ノミ利スルヲ得ンヤ、故ニ今マ若シ生糸ノ輸出税ヲ免除セハ、我カ横濱ノ生糸相場ハ必スヤ二十餘圓騰貴セン、茶ノ輸出税ヲ免除セハ必ズヤ三圓餘錢騰貴セン、昆布ノ如キ銅ノ如キ其ノ他總テノ物品亦々其ノ輸出税ヲ免除セハ、其ノ相場ハ必ズヤ免除セラ

レタル輸出税丈ク騰貴セン、而シテ其ノ利益ハ直チニ我カ内地ノ生産者ニ歸セサルヘカラサルコトナリ、

論者又々曰ク、今日ニ於テ輸出税ヲ廢止スルハ外交政略上不可ナリ、夫レ我カ邦ニハ條約改正ト云ヘル、一大事件アリ、此ノ條約改正ヲ遂行シテ、以テ法權及ビ稅權ヲ恢復セント欲セハ、我カ邦ハ到底諸外國ニ向ヒテ相當ノ報償ヲ爲サ、ルヘカラズ、故ニ事ノ苟モ外國人ニ關係アルモノハ、成ルベク保存シテ以テ他日條約改正ヲ遂行スルノ便ニ供セサルヘカラズト、然レモ外國人民未タ嘗テ我邦ニ向ヒテ輸出税ヲ免セシコトヲ要求セシコトヲ聞カズ、肥後ニ關稅アルモノナキモ、東京ノ米價ニ影響ナシ、我邦ニ輸出税アルモノナキモ、外國市場ノ相場ハ爲ニ高低セズ、故ニ輸出税ヲ免除シテ彼レヨリ報酬ヲ得シコトヲ望ムハ空想ト云フベシ、

論者又々曰ク、北米合衆國ノ製絹業ハ專ラ我カ邦ノ生糸ニ依リテ發達シタルモノナリ、故ニ我カ邦ノ生糸ヲ高價ニシテ以テ其ノ製絹業ノ發達ヲ妨クルハ我カ邦ノ爲メニ利益アルベシ、何トナレバ我カ邦ノ利益ハ之ヲ、ハンケチ其ノ他ノ織物ト爲シテ輸出スルニ在ルヲ以テ、成ルヘク我カ生糸ノ輸出税ヲ免除セサルヲ可トスレバナリト、蓋シ此ノ論者ハ生糸ノ輸出税ヲ免除スルトキハ、我カ邦生糸ノ直段内地

ニ騰貴スヘキヲ知り、又々生糸ノ直段騰貴スルトキハ、西陣郡内及ヒ桐生足利等ニ於ケル機業家ハ多少不利ヲ蒙ルヘキヲ知り、而シテ我カ邦ヨリ生糸ヲ供給セサルトキハ北米合衆國ノ製絹業者ハ困難スベシト想像セルモノナリ、故ニ輸出税ヲ免除スルトキハ、生糸ノ直段騰貴スベシトノ點ニ於テハ、此ノ論者ハ前ノ二論者ノ如キ誤謬ヲハ全ク免カレタルモノナリ、然レモ生糸ノ直段騰貴スルトキハ、西陣郡内及ヒ桐生足利等ノ機業家カ多少不利ヲ蒙ルヘキハ、是レ實ニ已ムテ得サルナリ、何トナレバ製絹業ハ決シテ生糸生産者ヲ損害シテ以テ保護スベキモノニアラザレバナリ、且ツ夫レ我カ邦ヨリ生糸ヲ供給セサルトキハ、北米合衆國ノ製絹業者ハ困難スベシト想像スルニ至リテハ、驚クヘキノ誤謬ニ陥レルモノト謂フベシ、何トナレバ方今合衆國ニ生糸ヲ供給スルモノハ支那アリ、印度アリ、伊太利アルヲ以テ、我カ邦ヨリ生糸ヲ供給セサルモ、合衆國ノ製絹業者等ハ毫モ困難スヘカラザレバナリ、

論者又タ曰ク、輸出税ハ先ツ生糸茶及ヒ昆布ノ如キ目下最モ急ヲ要スルモノヲ免除セバ可ナリ、一時ニ悉ク之ヲ免除スルハ穩當ノ處置ニアラズト、然リト雖モ、試ニ思ヘ生糸茶及ヒ昆布ノ輸出税ヲ免除セバ、殘ル所ノ税額ハ幾何ソヤ、實ニ僅少ナリ

而シテ其ノ殘ル所如何ニ僅少ノモノト雖モ、苟モ輸出税ノ存スル間ハ總テノ物品ヲ検査セサルヘカラズ、蓋シ論者ノ如キハ思ハサルモノト謂フベシ、

論者又タ曰ク、國庫資金ヲ海外市場ニ備ヘ置キ、直輸出ヲ保護ス可シ、蓋シ直輸出ヲ爲スハ商權ヲ伸張スルノ好手段ナリ、國家富強ノ基礎ヲ立ル之ニ過グルナシト、此論、可ハ則チ可ナリト雖モ、既往實行ノ形跡ヲ顧ミレハ、直輸貿易ハ保護ヲ受ケタルニモ拘ハラズ、年ニ月ニ衰替スルハ何ゾヤ、蓋シ彼生計ノ定度高キ海外市上ニ出店ヲ置キ、取引ニ長日月ヲ消スルナレバ費用多クシテ純益少ナキカ故也、或ル直輸實行者ノ言ニ曰ク、直輸取引ノ緩慢ナル横濱取引ノ比ニアラス、故ニ國庫ノ保護ヲ受ケテ少許ノ直輸ヲ爲スモ、横濱取引ヲ禁遏シテ多額ノ直輸ヲ爲スニ非サルヨリハ、到底利益ヲ見ル能ハサル可シト、此言實ニ眞ナラン、然レモ我國産出ノ生糸ヲシテ悉皆直輸シ得ルニ充分ナル保護ヲ與ヘントスルニハ、巨多ノ金額ヲ要ス可クシテ、國庫ノ會計上恐クハ許シ能ハサル所ナルベシ、良シヤ之ヲ許シ得可シトスルモ、尙直輸ヲ欲セサル者アレハ横濱取引ヲ禁止スルノ條例ヲ出スニ非レハ、其目的ヲ達スル能ハサル可シ、而シテ横濱取引禁制モ亦實施シ難キモノナレハ、何レノ方面ヨリ考フルモ現時ノ狀況ヲ以テスレハ、直輸ヲ盛ナラシムルハ言フ可クシテ行フ可ク

ザルノ論ナリ、今假ニ一步ヲ讓リ輸出税免除ニ至ルノ後横濱貿易不利ニシテ、直輸貿易ニ利アリトセン乎、皆競フテ直輸ヲ爲スニ至ル可シ、何ソツ殊更ニ保護ヲ要セシヤ、

論者又曰横濱ニ検査所ヲ設ケ精製ノ生糸ニハ保護ヲ與フヘシト、其設置セントスル所ノ生糸検査所ハ歐米市場ニ在ル所ト全シク、細太強彈乾濕等ヲ検査スルト同時ニ、其保證ノ責任ヲ合セ負フノ性質ナルカ故ニ、之ヲ民設ニナスヘクシテ官設ニナシ難キモノナラシカ、兎ニ角該検査ノ行ハル、ニ至ラハ、多少其便益ナキニアラズ、然レモ其検査ヲ要スルハ細太不均アル坐繰提糸若クハ産出少クシテ品質ニ異同アル幼稚ノ製糸ニアリ、洋式機械ヲ備ヘテ多額ヲ製出シ、品質優秀ニシテ細太不均ナキ精良ナル生糸ニ於テハ検査ノ必要ナシ、而シテ其鹿製ヲ罰シ精製ヲ賞スルノ實ハ價額ノ低廉ナルト、破談ベケノ多キトニ依リ、業ニ已ニ行ハレ居レリ、日々ノ取引表ヲ見ハ一目瞭然タル可シ、故ニ鹿製者又其不利ナルヲ知り、先進者ニ誘ハレテ改良發達ヲ計ルニ汲々タレハ、長足ノ進歩ヲ見ルハ遠キニアラサルベシ、故ニ検査所設立ノ舉ハ重要ノ急務ト爲スヘキニアラサルナリ、

之ヲ要スルニ輸出税全廢論ニ關シテハ正面ノ反對ナシ、以上ニ摘擧セシ所ハ異論

中稍々人意ヲ引クニ似タルモノナリ、然ルモ尙ホ一言以テ擊破スルニ足ル、其餘知ルベキノミ、今ヤ國家物産ヲ蕃殖シ貿易ヲ振作スルコト是レ急ナリ、是時ニ當リテ輸出ニ重税ヲ課シテ以テ歐米諸國ト競争セント欲ス、是レ豈ニ鞍馬ニ荷スルニ重任ヲ以テシ、以テ驟馬ト競争セシメント欲スルニ均シカラズヤ、余輩ハ切ニ此重任ヲ除キ我國物産ヲシテ世界ノ競争場裏ニ縱橫奔馳セシメント望ムモノナリ、各位幸ニ之ヲ賛成セラレシコトヲ、惘希ノ至リニ堪ヘズ、

明治二十四年十二月

輸出税全廢同盟會

附記

本年伊國ニ於テ生糸輸出税ヲ全廢セリトノ風評、我邦ニ傳播スルヤ、我蠶業家ハ勿論少シク國家ノ經濟ニ注意スルモノ、皆ナ憂慮セザルハナカリキ、幸ニ其事虛傳ニ屬シタリト雖モ、今マ倫敦經濟雜誌及ヒ其他ノ新聞紙ヲ參照スルニ伊國ハ到底本年ノ議會ニ於テ之ヲ全廢スルノ勢アリ、蓋シ伊國ノ前宰相シグノルクリスビーハ專ラ日國ニ親ミ、日、英、伊三國同盟ヲ爲セシ程ノ人ナリシカバ、佛國モ之

ニ激シ、伊國ノ生糸ニ限リ輸入税ヲ課スルニ至レリ、然ルニ伊國ノ通商ハ勿論其人民ノ交際モ亦タ最モ佛國ニ厚カリシカバ、クリスピーノ政策ハ人民ノ不平ヲ來シタリ、然ルニ現宰相マーキスルデニハ全ク反對ノ政略ヲ執リ、專ラ伊佛ヲ親睦セント勉メリ、故ニ佛國ハ之ニ對シ三國同盟ヲ脱會スベキヲ説キ、且ツ既ニ本年伊國生糸ノ輸入税ヲ全廢シタリ、然ラハ則チ伊國モ亦タ本年ノ議會ニ於テ生糸輸出税ヲ全廢シ、佛國ノ交際ヲ厚ウスルノ策ヲ執ルナルベシ、若シ伊國ニシテ輸出税ヲ全廢セバ、我生糸ニ影響スル果シテ如何、現今伊國ノ生糸ハ其輸出税百斤ニ付キ五弗程ニシテ我生糸ニ比シ其相場二三弗高價ナリ、故ニ若シ彼レ其輸出税ヲ全廢シテ低價ニ賣出スカ如キヲアラバ、我生糸ハ言フベカラザルノ慘狀ヲ蒙ムルヤ必セリ、故ニ輸出税全廢ノ事ハ如何ナル事情アルモ斷行セザルベカラザル要件ナリト信ズ、

明治二十四年十二月一日印刷

明治二十四年十二月十日出版

東京市京橋區彌左衛門町七番地

輸出税全廢同盟會事務所

者刷 望 月 一 郎

東京市京橋區西紺屋町二十六、七

番地

所 秀 英 舍

我輸出税全廢同盟會ハ
今日既ニ横濱輸出品生
産者三分二ヲ包有セリ



ニ激シ、伊國ノ生糸ニ限リ輸入税ヲ課スルニ至レリ、然ルニ伊國ノ通商ハ勿論其人民ノ交際モ亦タ最モ佛國ニ厚カリシカバ、クリスピーノ政策ハ人民ノ不平ヲ來シタリ、然ルニ現宰相マールキスルデニハ全ク反對ノ政容ヲ執リ、專ラ伊佛ヲ親睦セント勉メリ、故ニ佛國ハ之ニ對シ三國同盟ヲ脱會スベキヲ説キ、且ツ既ニ本年伊國生糸ノ輸入税ヲ全廢シタリ、然ラハ則チ伊國モ亦タ本年ノ議會ニ於テ生糸輸出税ヲ全廢シ、佛國ノ交際ヲ厚ウスルノ策ヲ執ルナルベシ、若シ伊國ニシテ輸出税ヲ全廢セバ、我生糸ニ影響スル果シテ如何現今伊國ノ生糸ハ其輸出税百斤ニ付キ五弗程ニシテ我生糸ニ比シ其相場二三弗高價ナリ、故ニ若シ彼ノ其輸出税ヲ全廢シテ低價ニ賣出スカ如キアラバ、我生糸ハ言フベカラザルノ慘狀ヲ蒙ルヤ必セリ、故ニ輸出税全廢ノ事ハ如何ナル事情アルモ斷行セサルベカラザル要件ナリト信ズ、

明治二十四年十二月一日印刷

明治二十四年十二月十日出版

東京市京橋區彌左衛門町七番地

輸出税全廢同盟會事務所

編纂兼印刷
發行 者

望 月 一 郎

東京市京橋區西紺屋町二十六七

番地

印刷所

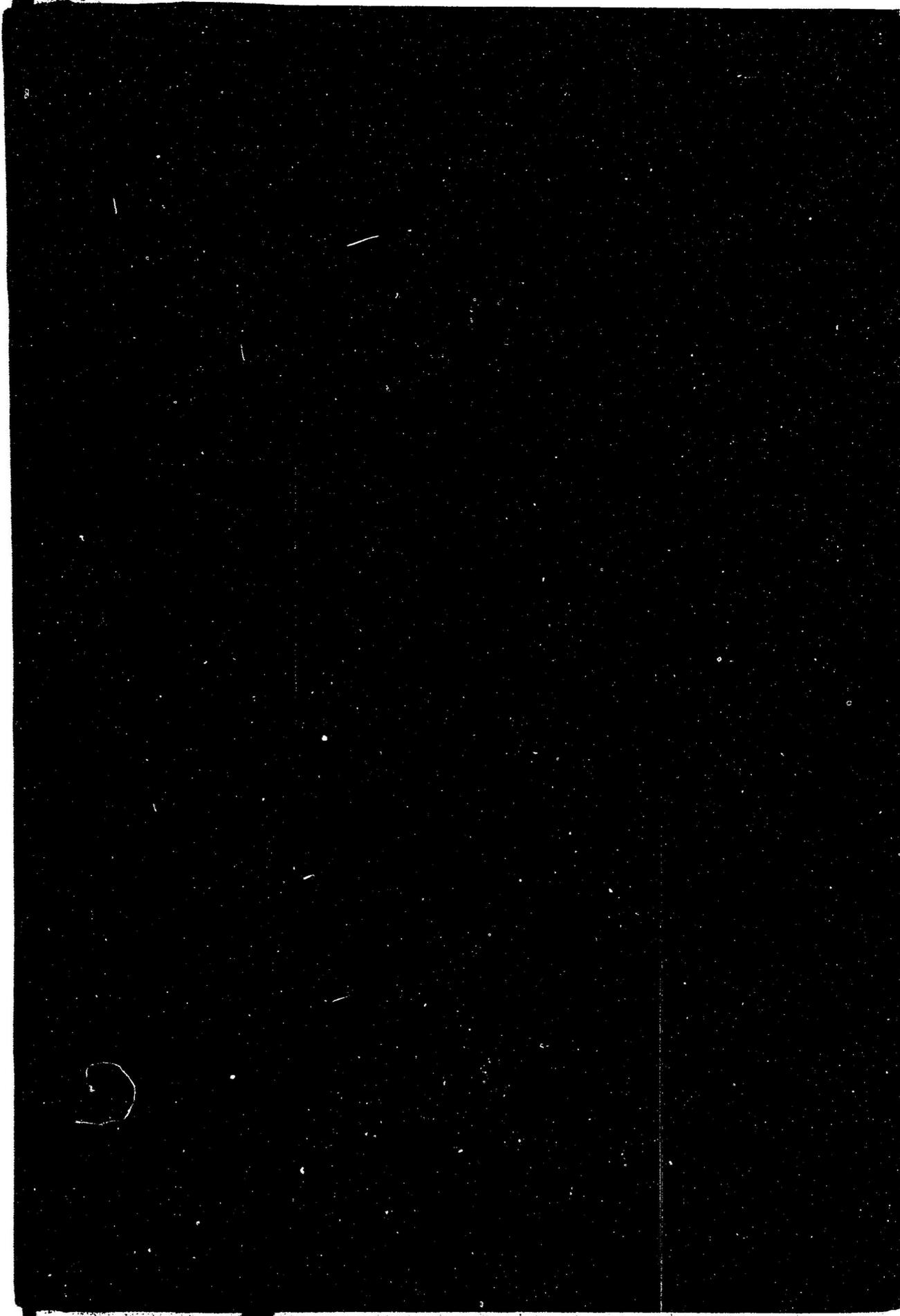
秀

英

舍



24
241



044383-000-5

34-241

輸出税全廃ヲ冀望スルノ注意書

望月 二郎/編

M24

BDN-0486

